

# 「日本史B」シラバス

学科	普通科	学年	3 年	類型	I・II	組	1・2 組	単位数	4
使用教科書	詳説日本史 改訂版(山川出版社)								
副教材等	最新日本史図表(第一学習社) 新日本史要点ノート 応用編(啓隆社) 詳説日本史改訂版 10 分間テスト(山川出版社)								

## 1 学習の到達目標

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。

## 2 学習評価

次の四つの観点に基づき、各学期とも定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により 100 点法で評価し、学年末に評定を総括する。

①関心・意欲・態度	日本史の事象に興味を持ち、主体的・意欲的に課題を追究しようと取り組んでいるか。				
②思考・判断・表現	日本史の基本的な流れを理解し、現在の国際社会とのつながり、自分とのつながりを多面的に考察し、公正に判断しているか。				
③資料活用の技能	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身に付けているか。				
④知識・理解	日本史に関する基本的知識や流れを身に付け、歴史が複合的な要因で成り立っていることを理解しているか。				
評価方法 \ 観点	①	②	③	④	備 考
学習状況の観察	A	B	B	C	授業中の観察・自己評価
課題提出	B	A	A	C	長期休業中などの指示した時期に提出
ノート提出	B	C	C	B	定期考査ごとに提出
ペーパーテスト	C	A	C	A	定期考査・小テスト

※ 表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

### 3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	第6章 幕藩体制の確立 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造 第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 第9章 近代国家の成立 1 開国と幕府の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府が諸大名を統制しながら各地に配置する幕藩体制を形成したことを理解する。</li> <li>幕藩体制の下での経済機構や交通・技術の発展、都市の繁栄に着目し、農業や商工業の発展及び町人文化の形成、農山漁村の生活文化について理解する。</li> <li>欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想及び産業の新たな展開に着目して、幕藩体制の動揺と近代化の基盤の形成について理解する。</li> <li>開国による国際環境の変化と明治維新に至る過程を、経済や社会とかかわらせて捉え、近代国家の基盤を形成した明治維新の意義について理解する。また、自由民権運動が展開するなど国民の政治的関心が高揚したこと、政府が立憲体制を目指し大日本帝国憲法の制定に至ったことを理解する。</li> </ul>
二 学 期	6 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦前後の国際社会の動向に対する我が国の対応と、それにもなう国際社会における立場の変化や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響を理解する。</li> <li>国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など第二次世界大戦と日本との関わりについて理解する。</li> <li>第二次世界大戦後の国際関係の推移に着目して、占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立など我が国の再出発及びその後の政治の推移と、新しい外交関係の確立について理解する。</li> <li>生活意識や価値観の変化に着目して、戦後の経済復興、技術革新と高度成長、経済の国際化など日本経済の発展と国民生活の向上について理解する。</li> <li>国際理解の推進と日本文化の特色、世界の中の日本の立場や我が国の国際貢献の拡大などに着目して、現代世界の動向と日本の課題及び役割について理解する。</li> </ul>
三 学 期	部門史 政治史、外交史、社会経済史、文化史	<ul style="list-style-type: none"> <li>部門別のまとめを行い、基礎的な事項が理解できているか確認する。</li> </ul>

